

本日の研究会のポイント

資料4 - 1

- これまでの研究会において、繊維産業が一丸となって海外展開を進めていく「サイクル」を作り出すためには、「必要な準備」と「継続的な試行錯誤」が必要であるという議論がなされ、またその議論の中では、その為に必要な様々な考え方と、具体的な経営手法や販売方法といったノウハウをいただいた。
- その上で、我が国の繊維産業における海外展開が一部の企業でしか進んでいない現状を踏まえ、皆様からいただいた基礎情報（考え方及びノウハウ）を「繊維産業における協調領域」として基盤情報化するため、事務局において「繊維産地の外需獲得 虎の巻ハンドブック（準備編）（案）」を作成した。
- 本日の研究会では、**海外展開に取り組み始めたばかり・本格的に実施していない事業者**に活用していただくためのハンドブックを作成する観点から、以下の点を中心に、様々な観点から御意見をいただきたい。
 - 趣旨と中身の整合性がとれているか。（「はじめに」の記載に違和感はないか。項目立ては今の記載で問題ないか。初心者が理解できる内容になっているか。）
 - 現場で使用いただけるか。（ゼロから実務をイメージできるか。中小企業が何をすべきかが明確か。具体・抽象の程度はどうか。繊維業界のどの工程の人も使用可能か。特定の産地・業種に偏っていないか。）
 - 普及される中身になっているか。（専門的すぎたり、難しすぎる記載になっていないか。よりわかりやすくするにはどうすべきか。1つでもやってみようと思える記載はあるか。これをどういう方々に、どのように普及させていくべきか。）
 - 内容は妥当か。（足りない情報・入れるべき情報はないか。現実に即した内容になっているか。国内情勢や世界の動向とズレがないか。事例を載せるべきか。）
 - 最終ページに載せるべき付録は何か。（チェックリスト、用語集、タグ等のイメージ、フローチャート等）